

平成25年6月4日  
社会教育推進体制の在り方に関するWG資料

# 自分達のまちは 自分達の手で …

～みんなと共に、郷土を興す喜びが実感できるまちへ～  
泉川公民館の実践を通して見えてきたもの

愛媛県新居浜市 関 福生

# 新居浜市の概況

瀬戸内海燧灘に面する工業都市

人口は 約126,000人

生涯学習都市宣言 平成9年度

地域の特性を生かした「地域主導型公民館」をめざす

平成15年 別子銅山で栄えた別子山村と平成の合併を行う

# 泉川地域の状況は

人口 11,600人

特色ある活動は...

学校支援地域本部事業

放課後子ども教室

● 国道バイパスアダプトプログラム

徐々に新しいまちづくりが広がる！

# はじめに・・・ **いくつかの問題提起**

- 1. 公民館は、地域に必要とされているか？**
- 2. 新しい公共？ 懐かしい公共では…？**
- 3. “施設論” から “機能論” へ**
- 4. 「個人の要望」と「社会の要請」**

**今の公民館に必要なものは何だろうか？**

## 地域主導型公民館とは **行政依存から脱却**

泉川公民館は6年目になりました。

- 正規職員の主事が非常勤職員になった。  
それまでは市職員に依存していたことが多かった

責任をもって公民館活動を担うことの楽しさ

- みんなの合言葉は「**大好き泉川**」  
地域みんながふるさとを愛することが基本だ！



“何をしてもらおう”から“何ができるか”へ

# まちの誇り 秋祭りの太鼓台

みんなが協力し、差し上げる  
そのパワーを公民館活動で発揮！！



# 泉川地域のまちづくり五カ条

1

- 自分たちでできることは自分たちでやろう！

2

- 地域づくりは地域から、まずは自分から始めよう！

3

- 行政の命令でなく、地域の主体性で動こう！

4

- まちづくり活動の核になる人材を見つけ、育てよう！

5

- 地域全体が受け皿となって、公民館を担ごう！

# 新しい地域づくり組織への挑戦

まずは 地域の現状を知ることから始める。

H19年度文部科学省委託事業 学びあい支えあい地域活性化推進事業

## 地域のマーケティングリサーチからスタート



結果は予想とは少々違い...

- ・地域を愛する人が予想より多かった
- ・地域活動への賛同者が多い
- ・活動への費用負担も厭わない



## 第二段階は“熟議”で地域課題をまとめる

アンケート  
分析



まちづくりワークショップ



地域課題の抽出

香川大学 清国 祐二教授を招聘し、熟議を交わす

地域の現状を語り合うことから入り、KJ法を活用して話を尽くす。

**最終的に、住民自身が地域課題をまとめた**

**今の泉川校区の地域課題は・・・**

**これが  
きっかけ**

- 1 地域福祉の充実
- 2 環境美化の推進
- 3 安全・安心の確立
- 4 健康づくり
- 5 子どもの育ちを支える

# そして 先進事例から学び、まねる

香川県高松市 三谷コミュニティセンターとの交流

井の中の蛙にならぬよう、客観的に自分達を見る目を養う

先進的な取組みに学んだことは

- 1 タテ割りからヨコ繋ぎの組織
- 2 予算面の一元化

いつの間にかよきライバルに  
相互交流が継続する関係に

当館での交流研修(7月3日)



自分から手を伸ばせば、ネットワークは拡大する。  
来る者は拒まずの姿勢が公民館仲間を増やす結果に